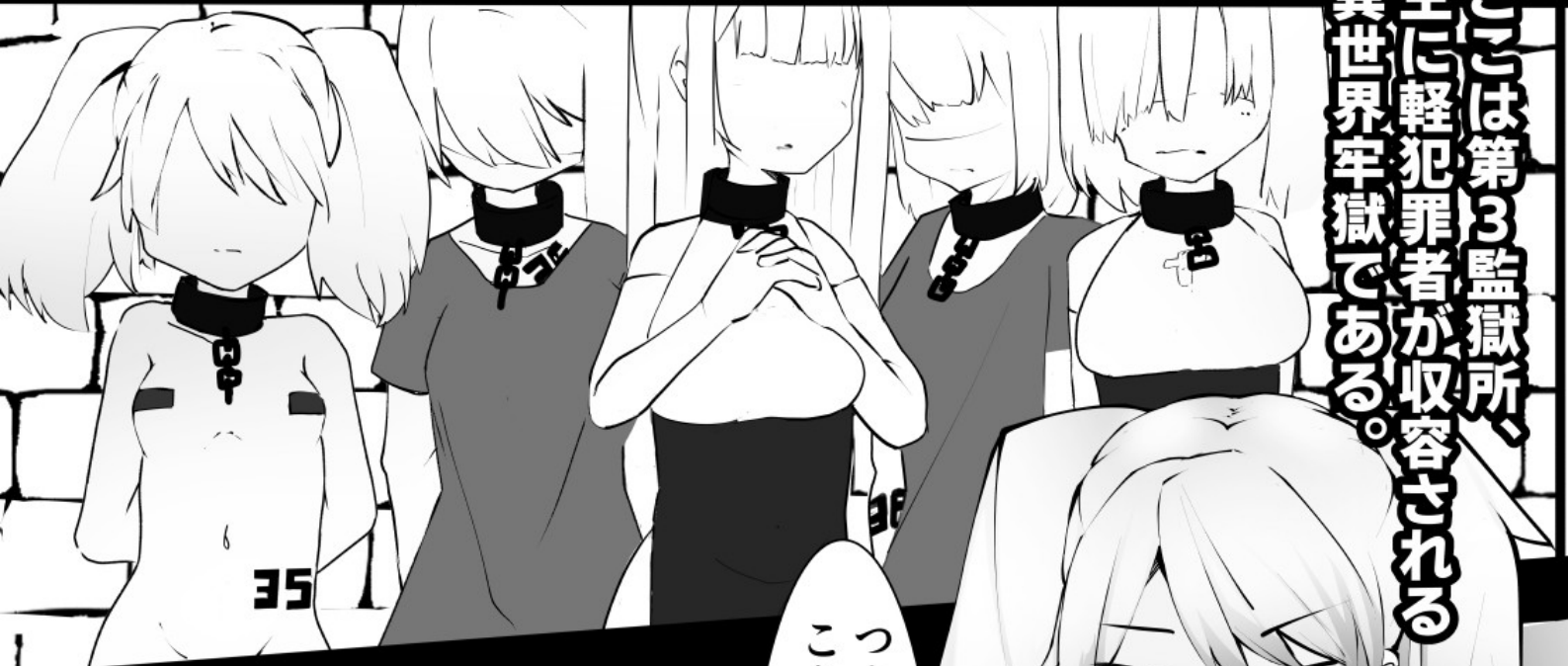


第三監獄所



～騙し捕らわれた女盗賊～

ここは第3監獄所、
主に軽犯罪者が収容される
異世界牢獄である。



つーか何で俺だけ
こんなカッコーなんだよ！

35番！
おいはやく返事をしろ！

ちっ
うるせーなあ...

はいはい
きこえてるっつーの
これでいいだろ



俺の名前はリリス・クワイア
流れの女盗賊だ。

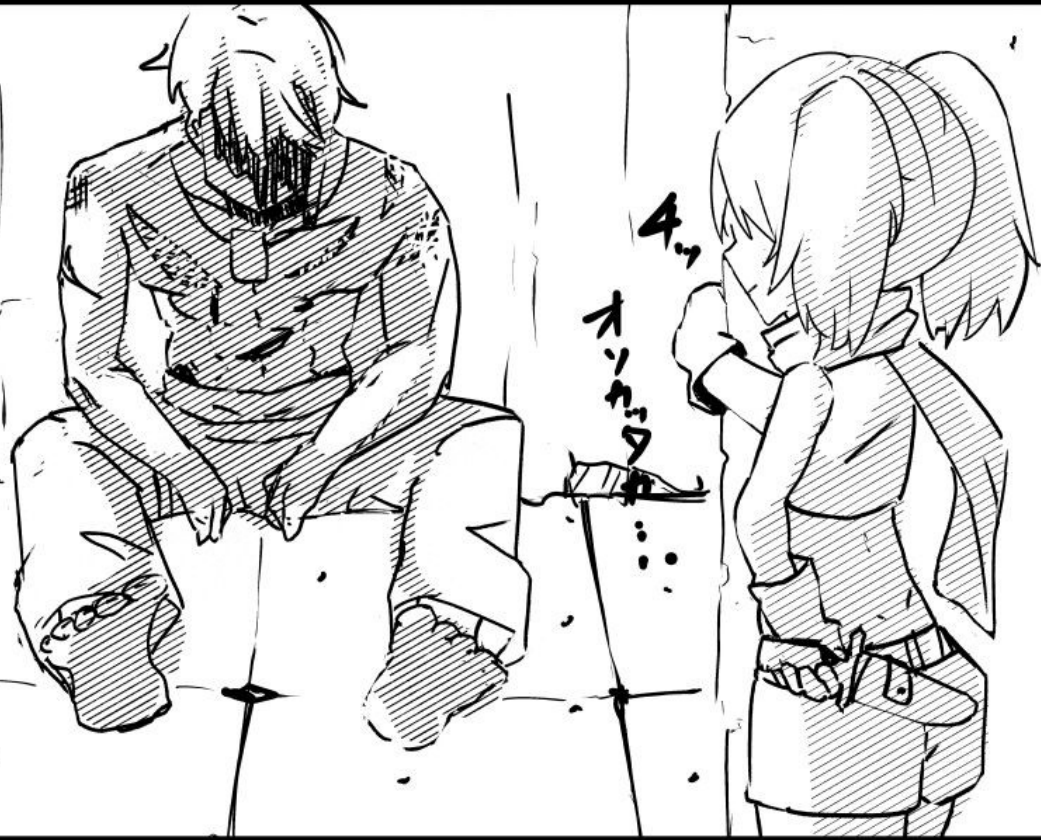


事の始まりは、一枚の依頼から
全ては、はじまった。
それは山賊に捕まった二人の
冒険者の救出依頼。



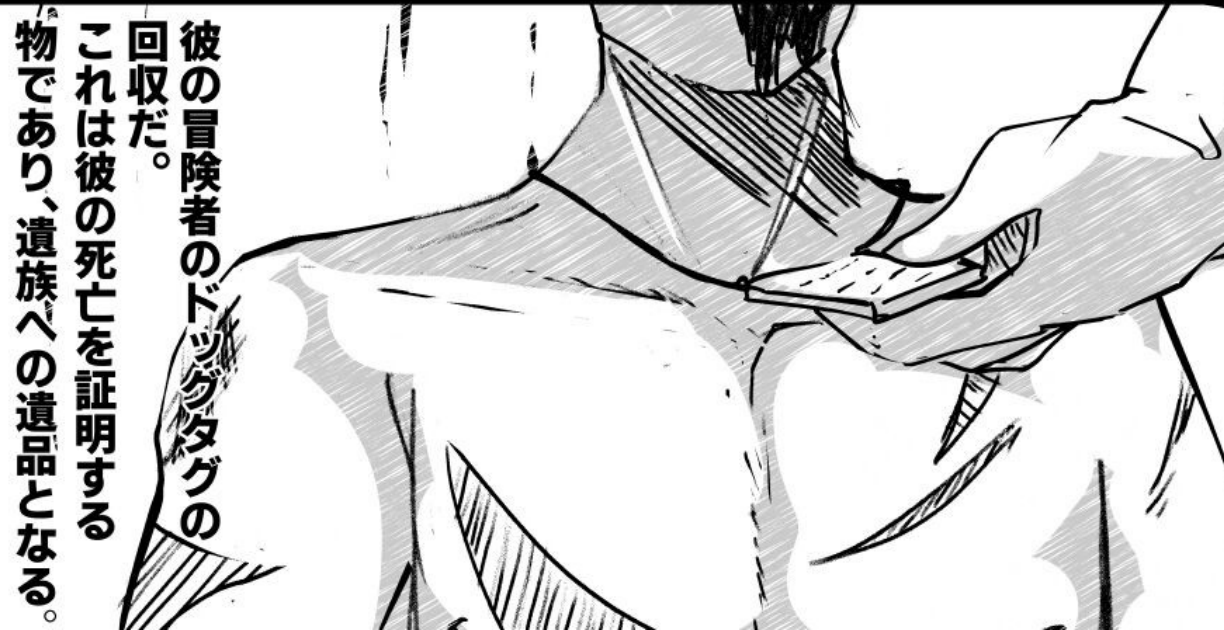
臨時のパーティーメンバーと
俺は斥候人員として、救助依頼
へと参加した。

ただ、俺が駆け付け付けた時には救助対象
は既に拷問され、息絶えていた。



冒険者の命は軽い…
長らく冒険者として活動していれば、
こういった不幸はよくある事さ…

依頼は失敗…
救助対象が既に息絶えてる
場合は俺にはどうする事も
できない。
できる事と言えば…



彼の冒険者のビッグタグの
回収だ。
これは彼の死亡を証明する
物であり、遺族への遺品となる。

俺は彼の死亡を伝えるため、
ドッグタグを片手に彼のご遺族
へ届ける。

これが全て
事もしらぬ...



お、おい!

ガッ

どういう事よ! 彼が死んだって!
答えてよ! 嘘だと言ってよ!

ブーン

約束したのに!

嘘よ嘘よ!
どうして...!!

ガッ!!

なんで!

お、おい
落ち着けよ

あなたがもつと早く...

もつと早く...

駆けつけてくれたら...

許さない、許さない...

私は絶対にあなたを
許さない!

お、お前は何を...



あの女は、どうやらあの男に惚れていたらしい……
これが、ただ惚れたはれたとか単純な話でよくある不幸な話であったならよかった。

そう、あの女が貴族だったのが問題だ。

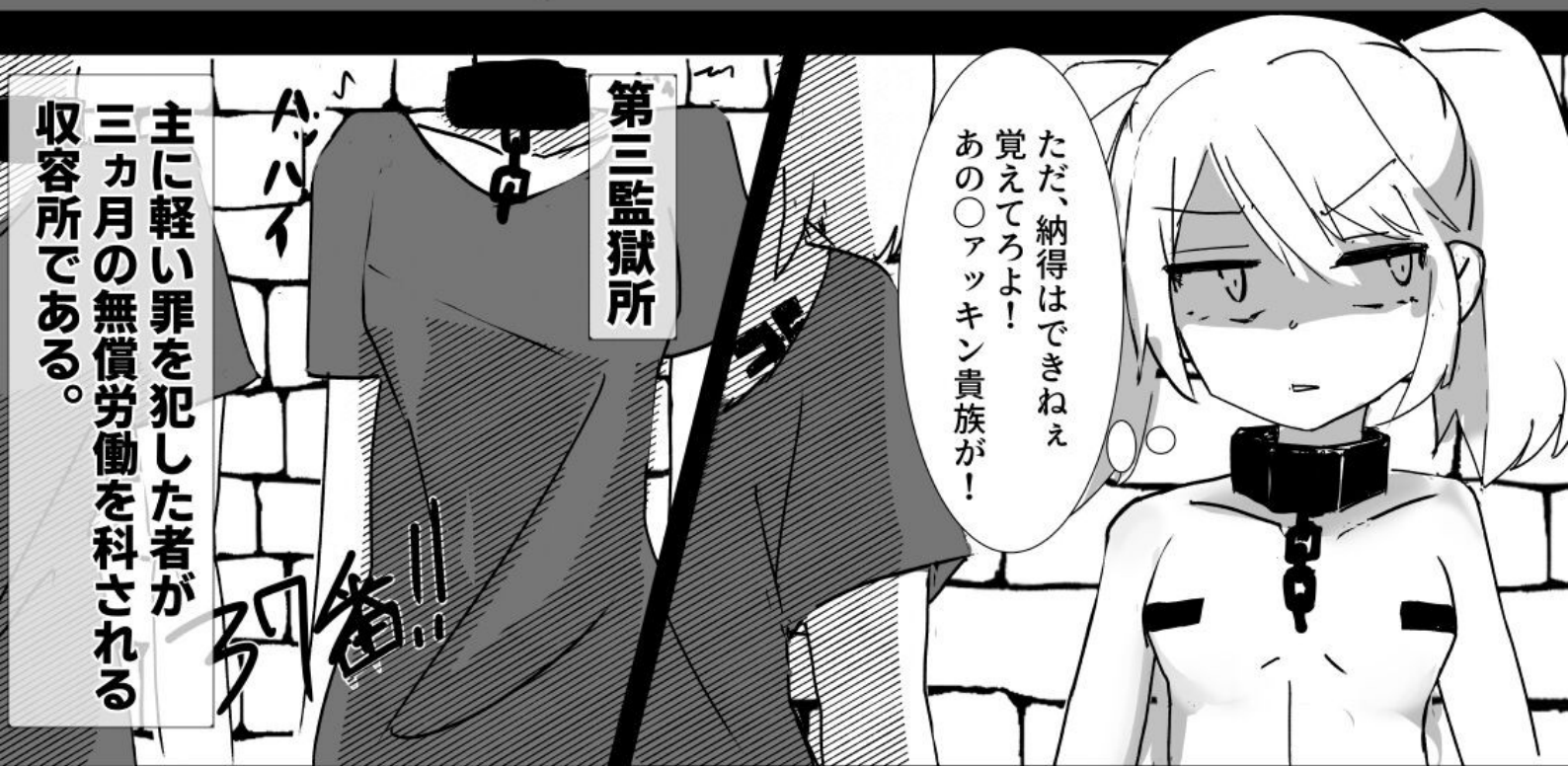
事もあるう事があの女、俺に冤罪を叩きつけ監獄を送りにしやがった。

許せねえ……

ただ、不幸中の幸いか、俺には冒険者としての信用も評価もあった。

あの女がいくら金をつんで喚ごうが、軽犯罪とするのがせいぜいであった。

第3監獄所送りとなったがこの程度に済んだのは、不幸中の幸いだったのかもしれない……



ただ、納得はできねえ
覚えてろよ!
あの○アツキン貴族が!

第三監獄所

主に軽い罪を犯した者が
三カ月の無償労働を科される
収容所である。



三カ月だ、
ここで三カ月我慢すればいいだけだ……
こんな所さっさと出てやる!

35番お前はこっちだ!



主な、刑務作業は
裁縫や、ゴミの清掃
また、簡単な肉体労働だ。

ここに収容される者は
訳ありな者が多く情状酌量の
余地がありとし、

三カ月無償労働したのち釈放される
決まりとなっている。



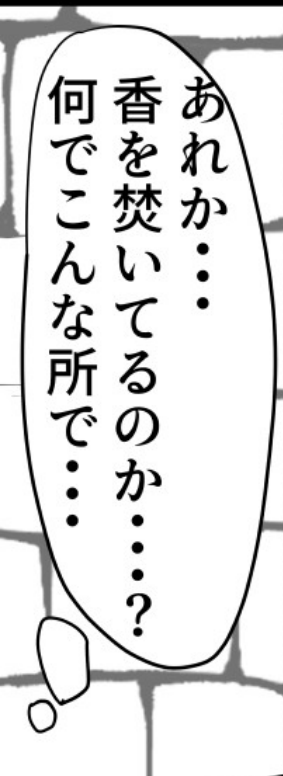
それに妙に甘い……匂い……？

フ
フ

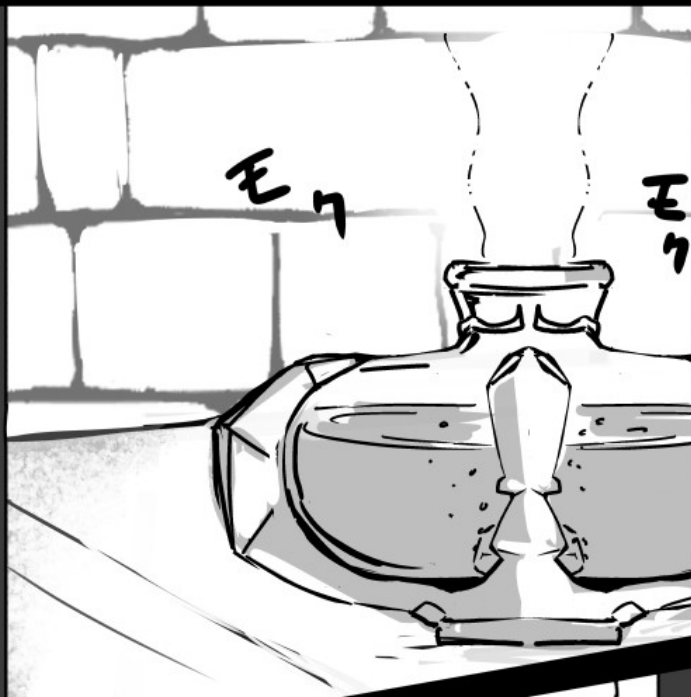


なんだここは……？

ズワズワ

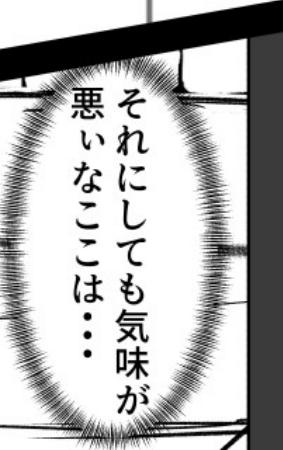


あれか……
香を焚いてるのか……？
何でこんな所で……

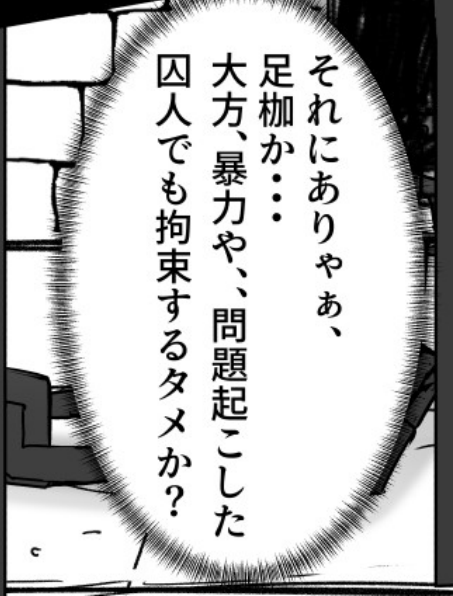
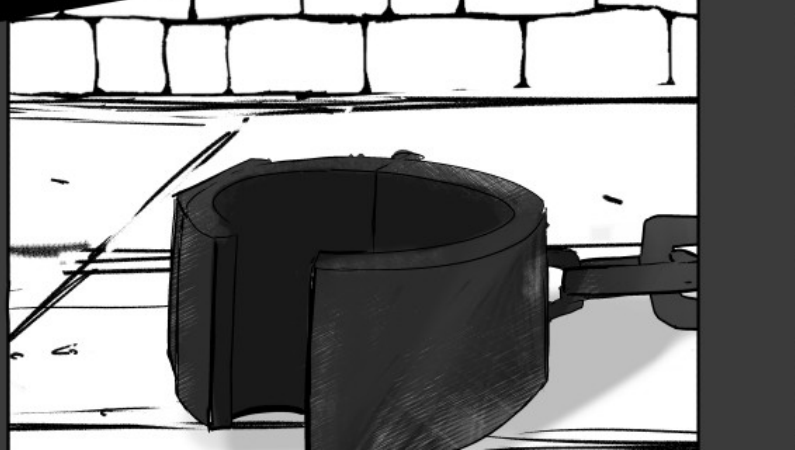


モッ

モッ



それにしても気味が
悪いなここは……



それによりゃあ、
足枷か……
大方、暴力や、問題起こした
囚人でも拘束するタメか？

35
いいから入るんだ!

バ

入れ

は?

てえなっ!!
何しやがる!

な!

バ

バ

なっ!
!?

バ

おいおい！
何がどうなってやがる！
なんで俺が拘束され
てんだよ！

あきらかおかし
じゃねえかつ！

とにかくあの看守から
事情を…

っ
!?



どういふ事だ！看守！
俺が何したって言うんだよ！

おい、何とか言えよ！
何シカトこいてんだよ！



ドザッ！！

んだよつこの鎖はっ！
全然動けねえじゃねえか…
ツチ、んな事より…



お、おい！待て！
どこ行くつもりだ！
つーかどいふ意味だよ！！

出せよ！出しやがれ！！



識別番号35番
お前をここにいれろと
上からの命令だ！

まあ精々壊れないようにな

バク

いやあ実に愉快愉快
君には助けられたよ。

何いってんだ旦那あ
それはこっちのセリフだぜ。

いやあ、
うちの23人目の婚約者にも困った者だよ。
まさか冒険の男に惚れていたとは、おかげで
中古品をつかませられる所だったよ。

旦那も人が悪いぜ、
まあその女のおかげでこっちは依頼共々
あの女盗賊に痛い目を合わせる口実ができて
旦那には感謝しきれないぜ

それにしても盗賊ギルドの棟梁の君には
世話になってるからねえ、協力は惜しまない
つもりだけど、それ程あの小さな女盗賊に
ご執心だったとは…
一体何があつたんだい？

あの女がこの街に来てからと
いうものうちに依頼がへる一方で
スカピンなのよ…
あいつは、口は悪くても
技能だけは一級品だからな、
一度内の傘下に入らねえかって
誘った事があるんだけど、
誰がはいるか粗チン野郎だとさ

なるほどねえ

それに新顔にいい顔されて
うちの島を好き放題荒らされるって
のも気に食わねえんでさ
こっちも盗賊ギルド棟梁としての
面子ってもんがあるもんでね、
一度しっかりしめておき
たかったんでさあ

それと特別独房のキーだがね
まあ今さら君には説明はいらないか
既に香も焚いてある。
そろそろ出来上がってる頃合いだろう

そいつはありがてえな

なに、君と私の仲じゃないか

所で、粗チン君。
君は少女趣味だったりすのかい？

笑えねえ、冗談はよしてくれよ旦那あ…
俺はちよつとしつけののなつてねえ
女をわからせるだけだ…

三時間後

くそっ！
なんだよ、この独房はっ！

体の方も妙に昂って
きやがるし……
どうにかなっちまいそうだ……

な、なんだあ……？

なッ!?

ちっ！こっちの鎖も動いてやがる！

鎖が勝手にっ!?

よお、リリース

ガッ

ガッ

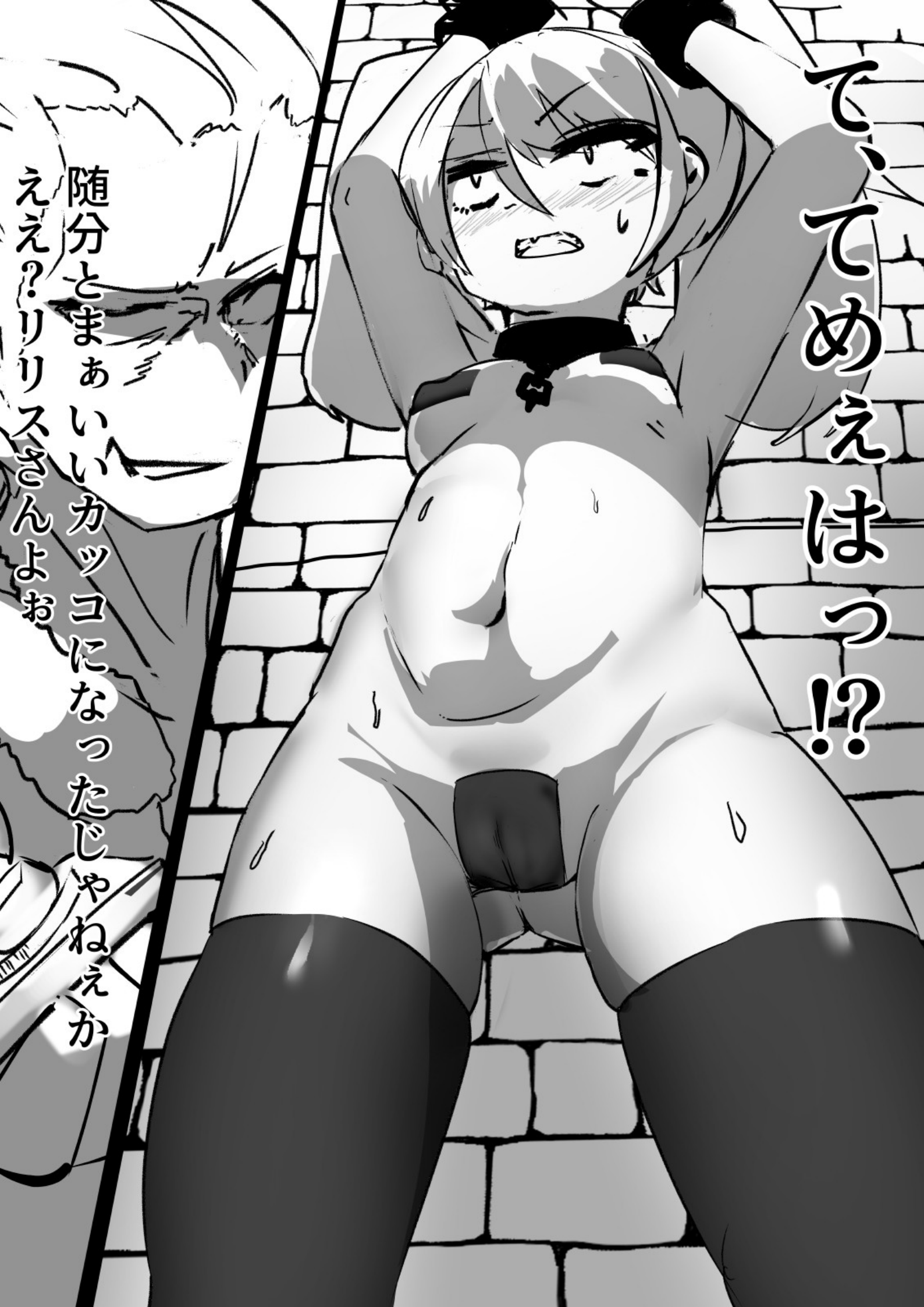
カッ
カラ
カッ

ズッ

ギッ

て、てめえはっ!?

随分とまあいいカツコになったじゃねえか
ええ? リリスさんよお



何でてめえがここにいやがる！
っーかジロジロ見てんじゃねーっ

相変わらず口が悪いなあ、てめえはよお…
ハメられた事も知らずに随分とまあそれほど威勢が
はれるもんだ

はっ？何言って…

全部全部、シナリオ通りって事だよ。
てめえはハメられたんだよ、リリスちゃんよお
そしててめえは今から俺様に許しを乞うまでしっかり
しつけてやっからよお
その生意気な口が聞けなくなるまでなあっ！

て、てめえっ！来るんじゃねえ！

ギ
ギ

一度やってみたんだよなあ…
おめえみたいな、生意気なガキをたっぷり
痛ぶってみるのよお…

サーッ

お、おい嘘だよな…
く、くんなよ…

く、くるんじゃねえっ！



うるせーっ！いいからその
汚ねえ手をどかしやがれ

それに体中こんなに
ベトベトにして



ほお、意外と胸あるじゃねえか
リリースの癖によお

く、くそ触んじやねえ
ふざけんな



お、おい……
や、やめ……やめてk……



ばかつ、おま、お前ふざけんな
いい加減にしやがれ！



ほお、そんな口の聞き方でいいのか？

お、おい……
お前どこに手を……

ははは、なんだこりゃあ、糸引いてやがるじゃねえか!

は？

見られてる……？

は……？

俺の裸が……？

それにてめえ、ツルツルじゃねえか、何だあ、まだ毛も生えてねーのか？



ふふふ、ふざけるな！毛とか関係ねーだろ！戻せ！今すぐ戻しやがれ！

たくっ……ちいっと大人しくなると思ったらよお……

これならどうだ!

ははは、なんだよ体の方は、
随分素直に仕上がってるじゃねえか!

指突っこんでいっっちゃまったのか

う、嘘だろ…
何がどうなちまってるんだ…

いったのか?

指をいれられただけで…俺が…?

くそっ!くそっ!
なんだよ…これ…
体の奥底がまだまだ疼きやがる

一体どうなちまってるんだ…
俺の体は…?

おいおい、何股を閉じてんだ
これからつうのによお!

おい、待て!
待ちやがれ!!

その口の聞き方を改めたらなあっ!



やめ、
やめてくれ…

頭のとっぺんから全部、全部
真っ白になって、何も考えられねえ…



くそっ！くそっ！こんななんじゃまたすぐにつ！
こんな、こんな奴に無理やり…
俺はっ！俺はっ！！

ああん、聞こえねえよ



おっおっおっ
おっおっおっ

ビク

ビク

ビク

ビク

ビク



スポッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

!!
!!

へへっ

小ぶりの癖して意外と尻肉ついてんじゃん

さ、触んじえねえ
今すぐその汚ねーもん
を締めいやがれ!

なんだあ?今さら触れるのダメっか?
サービスで鎖はゆるくしてやってるんだぜ
ほれ、嫌なら逃げて見ろよ、なあ?

あ、あん?な、なんだこれ……

体に力が……はいんねえ……

へへへ、今さら気付いたようだな
あの香はなあ、特別せいでああ……

いいからその汚ねーもん
しまえよ!

はあ?今からおっぱじめるのに
どうしてしまわきゃならねーんだよ

お、おま……
冗談……冗談だよな……

そいつ!はどうかになっ!

っ!!

ズッ
ズッ

おっ！！！！

足の指先から頭のとっぺんまで
脳髓まで刺激が駆け巡ってやがる……

こいつっ！
こいつっ！
くそまじでいれやがった！！

なんだこれは……
俺の体、全身性感帯でもなったのかよ……

体中に刺激が走りやがる……

待て、待て、待て……
こいつは、何いってやがる……
こんな状態でさらに刺激なんて……

さあ、最高に気持ちいいシヨ一の始まりだぜ！

ズッ

ザッ

キュン

アッ

アッ

アッ

ズッ

アッ

ズ

ズ



うっひょう！
お前気持ちよすぎだろ！
小さいだけあって、
膣の締りがだんちじゃねえか！

おおお、やめろおおおっ！
いっちまう！いっちまう！

さつきから膣がヒクヒク
絡みついてきやがる。
そんなに俺のチン○が気持ちいいのか？
ええ？リリースよ！



お前、お前ええええええ！！

べえな…
こんなじゃ俺の方もすぐ出ちまいそうだ
まずは景気づけに一発いっとくか？

ばかあああつ
ふざけんじやねえええつ
やめろやめやがれええつ！

お前、しまるましまる、なんだよ、
体の方は完全に出来上がってるくせによお
さあ一発目いくぜ！



こいつまで申につ...!!

ド
ド
ド

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ

ふさけるな...!!

カ
カ
カ

カ
カ
カ

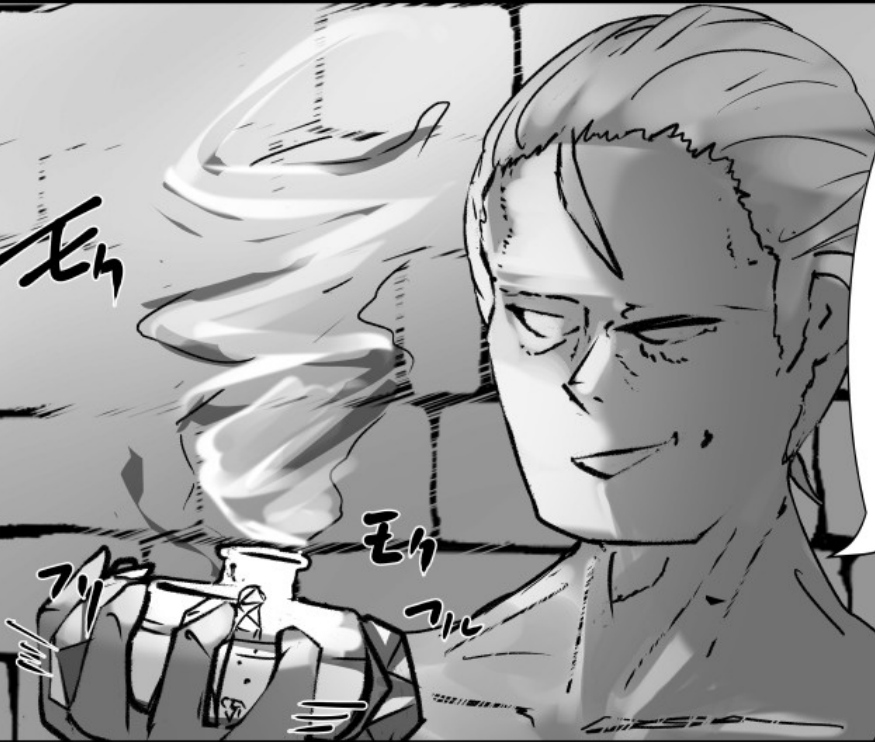
カ
カ
カ

コロス
ゼツテエーコロス…



おーこえーこえー
でも…
お楽しみはこれからだぜ？

いわゆる前準備って奴だ。
いった、ろこの香は特別製なんだよ



さあ、ごっちへ来い
リリス

動ける訳ねーだろがぁ…
俺は力が…



足が勝手に!

どうなってやがる!!

信じらねーって面だなりリス。
何のために、お前をこの独房に
入れたと思ってるやがる。

この香はなあ、数時間吸ったのちに
最初に取り込んだ精液の主の命令を
さからえなくなっちゃまうんだよ
無論、体の感度も数倍ひきあげてなっ!





て、てめえっ…

ってな具合でさあ、リリースよお



これでお前はもう俺に
逆らう事すら許されねえって事さ、

さて、お次はそうだな…
騎乗位でもお願いしてみようか、

ふふぞけんなっ!!

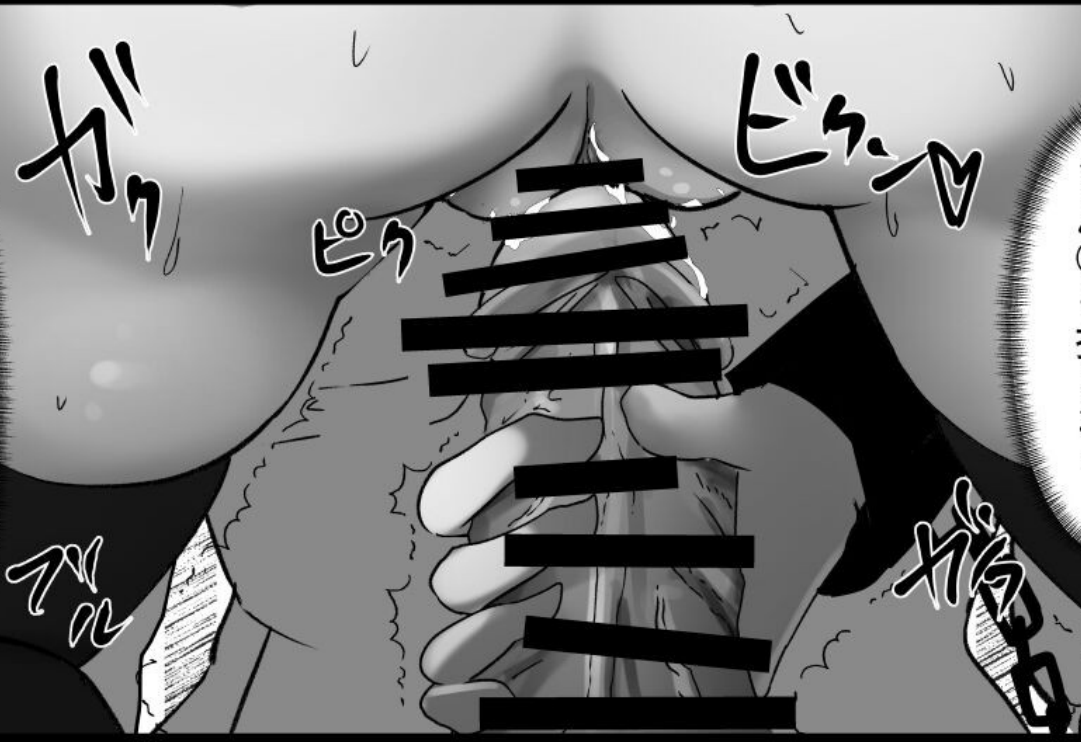
な!
今のが命令に
なっちまってるのかっ!?

くそっ!
また、体が勝手に!
き、きもちわりい...
俺の意思じゃねえのに...



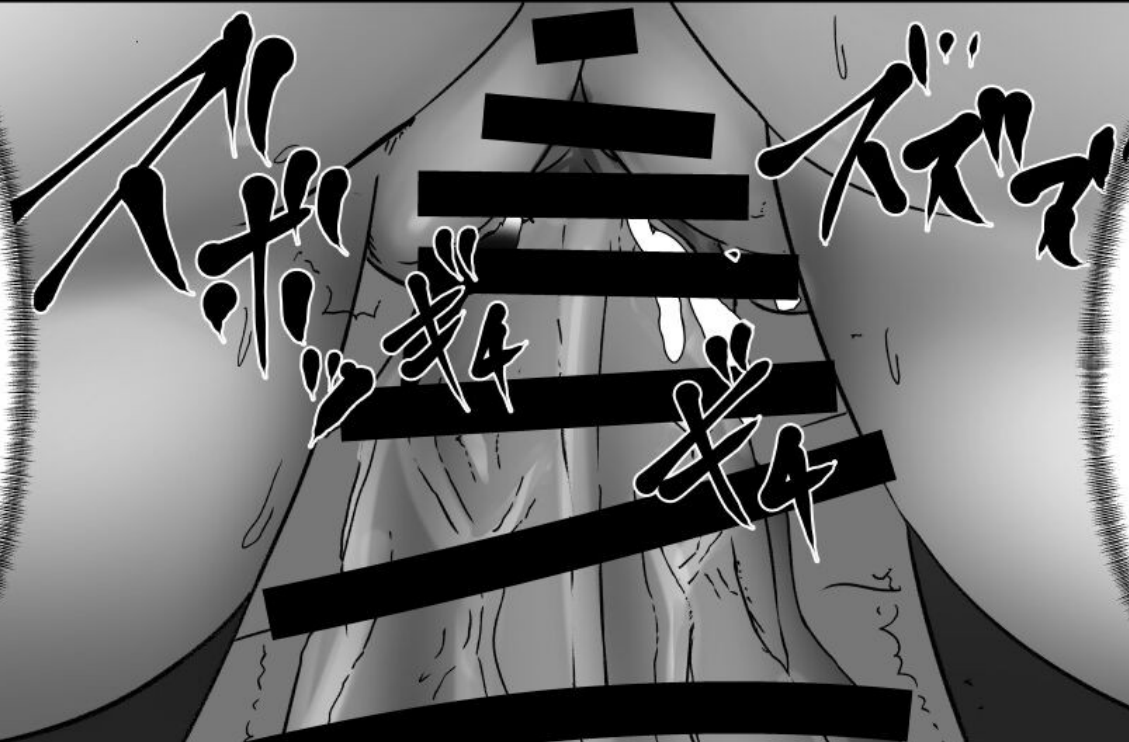
や、やめろっ!
ちん〇を握るなっ!

狙いをさだめてるんじゃないやねえっ!



やめろ、やめてくれっ!
おかしいんだ俺は...
さつきから...

こいつのちん〇が入るたびに
俺は...



おおよくできたな、
リリース偉いぞー

このクンニもちろん○がよおる！
このクンニもちろん○がよおる！
このクンニもちろん○がよおる！
このクンニもちろん○がよおる！

あーん

ガッ

ビク

ブル
ブル

おっ

大キス！！

くそっ。。。ためだ。。。
このつらん○が俺の中にはいつてきた瞬間
頭の中が、このつらん○の事しか考えられねえ。。。
やっえ。。。本当にこのままじゃまずい。。。おかしくなるっ。。。

なんだ軽くいつちまってんのか
ビククしやがってよお

なあ、頼むっ！何でもするっ！
だからっ！もうやめてくれ！
正直頭がどうにかなっちまそうなんだ！

ほお何でもしてくれるのか
なら、命令だ。
いますぐ腰をふれ！

嘘だろ。。。お前。。。
今、なんて。。。



とまんねえ!
とまんねえよおっ!

ははは、
いい様にななったじゃねえか、ええリリースよお。

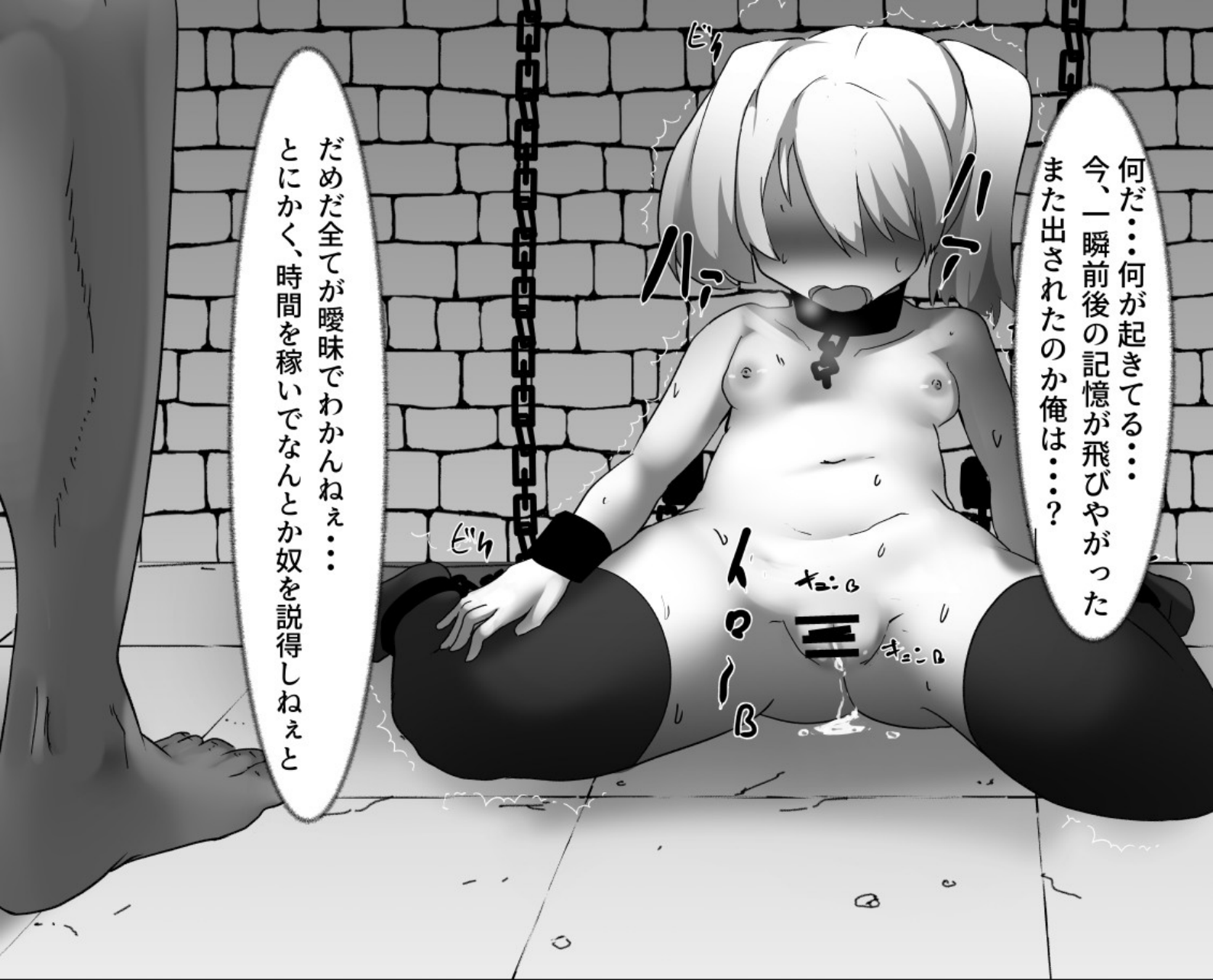


っち、きこえちやいねえか
まあいい、そんな良い子なリリースちゃんには
たっぷり中にご褒美あげないとなあ?

何だ、ちん○がくるのか?

中になん○がくるのかっ!?
だめだわかんねえっ!

おははは



何だ…何が起きてる…
今、一瞬前後の記憶が飛びやがった
また出されたのか俺は…？

だめだ全てが曖昧でわかんねえ…
とにかく、時間を稼いでなんとか奴を説得しねえと



なあ、なあ、もう1回
もう1回くれよ…

俺は何を言ってる…

違う…俺はそんな事…!

ああん？なんだよまだ欲しいのかよ
仕方ねえ、野郎だなあてめえは、

なあ、なあ、早く、くれよおっ！
あの、あったかい奴。

違うー！こんなの俺じゃない！！

そう、焦んなよ……
今、挿れてやっからよお

淫靡な音と共に……
奴のちん〇がまた挿入され……
奴が動きはじめる頃には俺の理性はもう
完全に……

俺の体はもうとっくに快樂
の海へと溺れ堕ちていた……
言葉は失われ、
俺の意思とは別に
本能のまま求めてしまう……



おはおは

おははは

おははは

おははは

おははは

おははは

はは、甘えるだけ甘えて気絶しやがったぜ。

トナリ!

まあいい、こいつの刑務期間は三カ月だ。
また、たっぷり可愛がってやるとするか、
ひひっ……



終わり